



小野原街道散歩

亀岡街道と西国街道をつなぐ道

新山ひろし

以前に亀岡街道を散策した時、山田市場池の西端から北に小野原街道が始まっていることを知った。「市場」を起点とする「小野原街道」は、北に伸び、箕面「小野原」で西国街道に到達する。つまり、この街道は亀岡街道と西国街道をつなぐ幹道なのだ。距離にして、およそ7キロ。とにかく、歩いてみることにしよう。

● 亀岡街道から北へ

さて、僕は、いま、小野原街道の起点「市場池」の道標の前にいる。道標には「左・小野原街道」と刻まれている。いつものことだが、街道が僕を誘っているような気がする。とにかく、終点・小野原を目指そう。さほど、街道の風情を感じさせる道ではないが、文句は言わない。道は、ほぼ北に向かう。「大神木神社」という小さな祠があり、その先で名神高速道路をアンダークロスする。そこに「山田名神下」の地名の標識があった。その側にある「小野原街道」の解説板によれば、小野原街道は「大阪方面と池田・伊丹など北摂の町を結び役割を持ち、米や青物など物資の運搬に利用されました。また、山田村は淀藩の領地でしたから淀との物流や通信のための道としても利用され、さらに北摂の寺院へ参詣するための信仰道として人々が往来しました」とある。

● 旧山田村を通過する

右手(東側)を山田川が流れ、その上流に向かって小野原街道は伸びている。かつては、山田下村から中村・上村へと山田の旧村を巡っていたようだ。そして、山田の氏神・山田伊射奈岐神社に到着した。山田村は「山田千軒」の賑わいを見せ、その中心に伊射奈岐神社があった。平安時代の延喜式に記載される由緒ある神社だ。この「宮ノ前」から「三ツ辻道標」までの間、小野原街道は山田街道と重なっている。この二つの街道が一つになって、山田川の右岸と左岸を巡りつつ、北へ向かう。途中、江戸後期に活躍した画家・森狙仙の天井画がある紫雲寺、竹中邸の馬門などに街道の風情を感じながら、ようやく「三ツ辻」に到着する。ここで小野原街道と山田街道は左右に分かれる。「三ツ辻道標」には、「右・をの原村・みのを・かちを寺」「左・上新田・をか町・いたみ」と刻まれている。小野原街道の方向は右だ。知らないうちに、過去の時間を巡っているような気になっている。

● 「山田三ツ辻」を右へ
そして北へ

「三ツ辻」からモノレールと中国自動車道を次々にアンダークロスして北へ向かう。そこはもう北千里へ向かう上り坂である。大きな消防署が見えたら、道は右へゆるやかにカーブ、山田川に沿った道を遡る。この辺り、森の緑が深く、清流の音が響いている。そして、急に視界が広がった。手前に、山田川の源流「水遠池」が広がっており、その向こうに大阪大学の未来的なビル群が現れた。

● 小野原村ってなんだ？

水遠池に沿って左に旋回し、大阪大学と金蘭短期大学の間の坂を上ってゆく。登り切ったら、「箕面市」の標識が目に見え、なんと別世界に来たよう気になった。それから、さらに北へ。まもなく、「小野原西6丁目」の道路標識が見えた。もう、西国街道も近そうだ。この辺り、街道の風情など、どこにもないが、とやかく言いたくもない。まあ、目をつぶろう。とにかく、西国街道まで歩こう。そして、数分歩いた後、小さな交差点があり、その東に懐かしい街道筋の面影を見つけた。白壁の家、格子の家……ここには、江戸期の街道筋の風情が濃密に感じられる。やはり、これが西国街道だった。ようやく小野原街道の終点に着いたのだ。

さて、次は小野原の東、西国街道の風情を残す一角を散策してみよう。Y字型の交差点に辻堂があり、そこに「左・京ふしみ」と刻まれた道標が建っている。堂々としたものだ。その辻堂の横に古い井戸がある。南北朝時代、湊川に向かう楠木正成がこの井戸の水を飲んで心を癒したという伝説が伝わっている。その水の伝説から、辻堂には今も「楠水龍王」が祀られている。「毎年、5月30日にお祭りする時に白蛇が出てきた」と、文献には残されていた。ふと、見ると、辻堂の前には山小屋風のカフェがある。珈琲の香りに魅かれて入ってみた。そして、今日の街道歩きを振り返った。はたして、亀岡街道と西国街道を結ぶとはどういうことであつたか……改めて、そんなことを考えた。

● ついに西国街道に到達

さあ、小野原の町、旧小野原村を感じてみよう。まず、西国街道の西側を見ると、旧小野原村の氏神「春日神社」の巨大な森

小野原街道を人が巡り、物が巡る……その賑わい面影が、一瞬、洪水のように僕の胸に響いた。



- ①市場池跡碑：亀岡街道に沿った溜池の石碑。
- ②小野原街道の起点を刻む石碑。
- ③右：亀岡街道、左・小野原街道。
- ④市場から北へ、名神高速の下をくぐる。くぐれば、旧山田村。
- ⑤伊射奈岐神社：この辺りは山田村の中心で、「宮ノ前」という。
- ⑥山田川に沿った小野原街道の風情ある佇まい。
- ⑦三ツ辻道標のぼく：左に行けば、山田街道。右に行けば、小野原街道。
- ⑧三ツ辻道標：「右・をの原村」と刻まれている。
- ⑨水遠池：山田川の源流、その向こうに大阪大学の威容。
- ⑩大阪大学の坂を越えたら、箕面市の道路標識が見えた。
- ⑪「小野原西6丁目」：もうすぐだ。
- ⑫小野原の東。西国街道の雲田気がある一角。
- ⑬「楠水龍王」を祀る辻堂。
- ⑭「左・京ふしみ」と刻まれている。